



信太 和子
(大河・生々・)
みどりの会連合

(仮称)イオン新世代 ショッピングセンター出店

質問 新市長の登場により、出店反対から出店容認へと切りかわった。これは紛れもないトップ判断である。だからこそ、市長はみずからの言葉で説明責任を果たすべき。「市長が説明しても、部長がしても同じ」との考えでは、住民の理解は得られない。

答弁 イオンの出店計画に関しては、説明責任と市長の責務については、これまでも市議会を初め能代商工会議所、二ツ井町商工会、能代まちづくり市民会議、東能代地域まちづくり連絡協議会に説明を行ってきた。また、議会の意向や能代まちづくり市民会議からの要望を受け、広く市民を対象とした説明会を開催し、できるだけの説明と、これにかかわる質問に対して誠実に答えてきており、責務は果たしてきたと考えている。議会や各団体の意見、アンケートによる市民の意向などから、市民のため、市のため、圏域のためにプラスになると判断をしたものである。

松原ホームと 住吉町住宅の建てかえ

質問 松原ホームは昭和34年に建築され、築48年となり限界である。母子生活支援施設として、居住環境の整備を急ぐ必要がある。住吉町住宅建替計画の中に含まれているとのことなので、住吉町住宅建替計画の進捗状況と併せてお知らせ願いたい。

答弁 市営住吉町住宅建替基本計画策定及び民活導入可能性調査業務委託については、当初予算で1050万円を措置し、それに基づき、建設予定戸数の考え方や併設する施設、民活導入可能性調査の検討をした上での事業方式、階数や構造、事業スケジュール等について調査することとしている。松原ホームは、築後48年を経過しており、改築が必要な状況であるが、住吉町住宅建てかえにおける施設の併設については、候補の一つと考えられ、併設理由等について、国へ説明資料を提出したところ、国から対象として差し支えないという回答があり、今後、庁内で検討していきたい。

信太議員のその他の質問事項

- 歳入不足
- 中心市街地活性化
- 能代産業廃棄物処理センター

総合計画策定



飯坂 誠悦
(創風会)

質問 総合計画は数値目標を立て、市民に進捗率の情報を公開すべきであり、各事業に優先順位をつけなければならぬと考える。市民の権利と義務を明確にした「まちづくり条例」を定め、市民活動を支援する仕組みを整備してはどうか。

答弁 各事業の優先順位については、総合計画の中では、基本計画において重点的に取り組む政策や施策を明らかにしていくこととしており、これを受けて策定する実施計画で優先事業を位置づけたい。また、総合計画策定において、これまで以上に市民の参画意欲が感じられ、市民みずからがまちづくりに取り組んでいかなければならないという気運が高まりを見せている。こうした延長線上に権利や義務などを規定する「まちづくり条例」の制定を検討していくことになるものと考えているが、当面はその前段として、こうした気運が一層広がり、市民の和が、実際のまちづくりにつながっていくよう努めていきたい。

職員の環境意識 向上と企業誘致

質問 L A S I E 導入後の状況はいかがか。市の環境に対する取り組みの並々ならぬ決意を県内外の資源循環型企業に表明し、企業誘致に少しでも反映できるような方策はとれないか。リサイクル港の活用を含め企業誘致の見通しはいかがか。

答弁 市役所では「その他プラ」の分別を先行実施する方向で調整しており、環境に対する意識が職員に浸透しつつあると考えている。企業誘致については、資源リサイクル関連産業のさらなる集積に取り組むため、県・市町村・商工団体、研究機関等により「地域産業活性化協議会」を設立する。誘致の目標などの基本計画を策定し、国の同意を得ることにより国から企業誘致活動等に対する支援を受けることができる。リサイクルポートの指定を受けたことにより、循環資源の物流ネットワークへの参画などが期待でき、新たな物流企業活動につながる。

飯坂議員のその他の質問事項

- 「道徳の時間」の状況について
- 「親学」に対する認識はいかに
- 「ゆとり教育」の削減について